

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

愛媛県愛南町 愛南町国保一本松病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
21,485	3,752	第2種該当	25:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

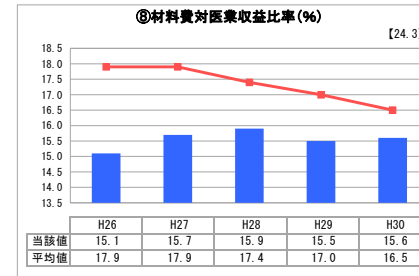
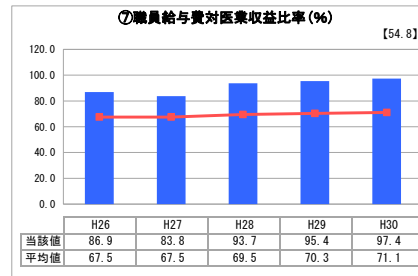
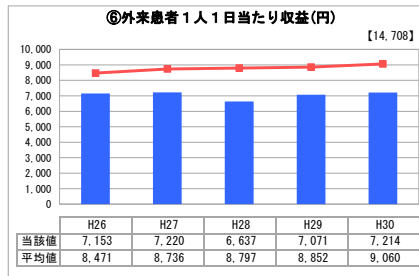
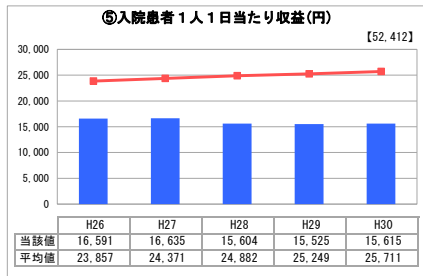
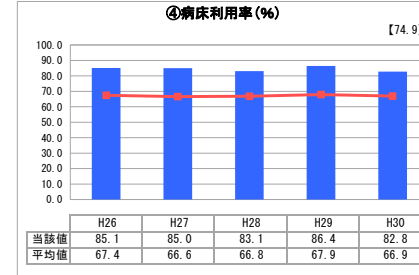
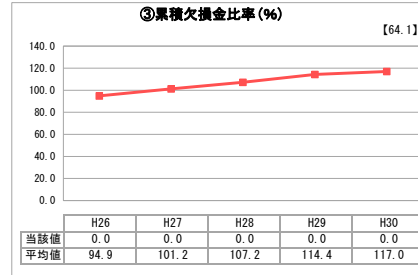
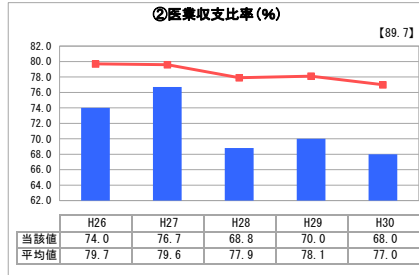
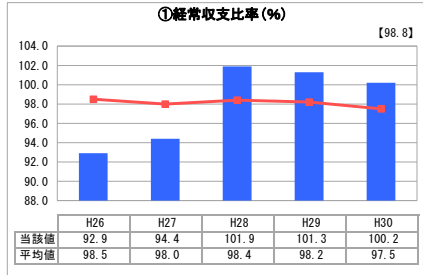
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	60	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
-	60	60

グラフ凡例

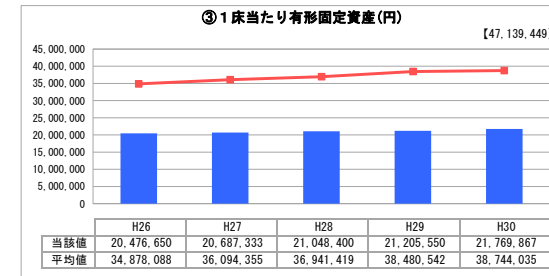
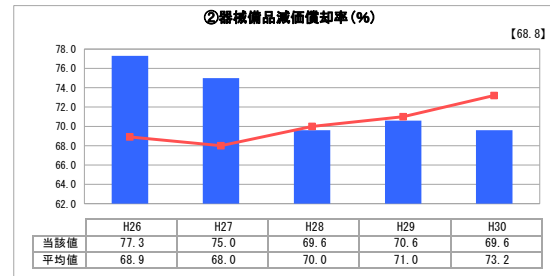
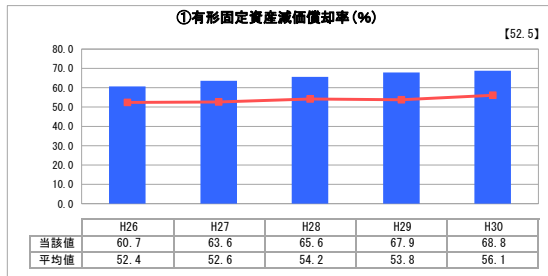
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-年度	-年度	-年度

## Ⅰ 地域において担っている役割

愛南町内で療養病床を有しているのは本院のみであり、長期治療が必要な患者様を受け入れている。  
また、町で唯一の二次救急医療機関である県立南宇和病院の医師不足が深刻な状況であるため、本院医師が宿直等の業務支援に携わり、県立病院医師の業務負担軽減や住民の医療に対する不安の解消に努めている。

## Ⅱ 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比については、平成26年度から平成27年度まで100%を下回っていたが、H28年度より繰入金の増額により100%を上回っている。病床利用率は類似団体平均値と比較すると高いが、当病院の医療収益は入院収益の割合が大きく、医療収支比率向上のためにも積極的な入院患者様の受け入れを行い、病床利用率の向上に努めていきたい。累積欠損金は発生しておらず健全な経営運営ができています。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあり、また、類似団体平均値より高い数値となっていることから、有形固定資産の経年や老朽化が進んでいる状況にある。器械備品減価償却率について、平成30年度においては類似団体より低くなっている。今後とも計画的かつ適切に有形固定資産の整備を行ってきたい。

### 全体総括

平成30年度決算において、経常収支比率が100%を超え、累積欠損金も発生していないことから、健全な水準である。しかし、医療収支比率が類似団体と比較しても低いため、病床利用率の向上等により安定的な医療収益を確保していきたい。また、有形固定資産の経年や老朽化に伴う施設整備を行っていくためにも、計画的かつ効率的な経営の推進を図ってきたい。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。